

市川教育会館だより

平成31年 3月 7日 一般財団法人市川教育会館
発行者；一般財団法人市川教育会館理事長 石塚 浩

☆2月定例理事会及び定例評議員会での承認事項について☆

平成31年2月4日(月)の第4回定例理事会、同年2月18日(月)の第2回定例評議員会において、以下の事項について審議し、承認されました(以下の事項についての詳細は、「市内共有フォルダ→H30年度→市川教育会館」をご覧ください)。

(1) 第1号議案「平成30年度決算の見通し及び決算の方向性について承認を求める件」(平成30年12月31日現在)について

① 収入について、拠出金の入金額は前年度比で約34万円上回っています。これは、新規採用者の増加が原因です。したがって、年度末拠出金額は前年度比約48万円の増収が見込まれます。一方、会議室利用料は前年度比約13万円の減収となっています。有料団体の会員数の減少による需要の低下が理由となっています。

② 事業費支出

ア. 委託職員給与は約2万円の減少です。

イ. 文化事業費に係る後援助成金が前年度比で約10万円の支出減。また、講師謝礼金・会議費等を合わせても予算額の約27万円減での執行の見込みです。

ウ. 電気料金は、猛暑の影響から前年度比で約5万8千円(5.8%)増加しました。前年度が同時期で約1万5千円の増加でしたから、それを大きく上回る結果となりました。

③ 管理費支出

管理費支出については、予備費から、外壁等改修工事のコンサルタント料の残金として256,540円を支出しました。

(2) 第2号議案「平成31年度主要事業と予算案の方向性について承認を求める件」について

① 歳入

ア. 拠出金収入 予算額1,800万円(→平成30年度決算見込額1,815万円)

イ. 会員数 1,540名(平成30年度1,540名；拠出者数1,464名)

② 事業収入 予算額210万円(→平成30年度決算見込額195万円)

③ 課題

今年度は新規採用者の増加により拠出金が増加しました。しかし、これは年度毎の変動が大きく、今後の拠出金は横ばい、または減少する傾向にあると考えられます。また、会議室利用料が大きく減少しました。無料団体の利用状況の調査及び有料団体の利用促進に向けた取組を引き続き図る必要があります。

(3) 第3号議案「平成31年度市川教育会館年間事業計画について承認を求める件」について

① 平成31年度 主な年間行事予定について

② 平成31年度 年間計画表について

(4) 第4号議案「事務局長の契約期間の延長に関する件」について

前号(平成30年11月13日)でお知らせしましたように、事務局長の契約期間を、実務の複雑性と困難性を考慮し、教育会館の安定した運営を行うために最長5年とするもので、一般財団法人市川教育会館就業規程第8条第3項を下記のように改定することが第2回定例評議員会で承認されました。

〈一般財団法人市川教育会館就業規程〉

第8条 第3項(事務局長の契約期間)

(旧) 事務局長の契約期間は通算して最長3年とする。ただし、理事長が特に必要と認めた場合には、1年を限度として引き続き勤務させることができる。

(新) 事務局長の契約期間は通算して最長5年とする。

(5) 第5号議案「無料団体と有料団体の区別の基準に関する件」について

本議案の趣旨は以下の点を明確にすることにあります。

① 市川教育会館の利用について「透明性と公平性」を保つこと。

② 会議室利用料の著しい減少をわずかでも改善すること。

③ 市川教育会館は一般財団法人であり公共施設ではないこと。また、維持・運営は市川市公立学校の県費負担教職員の負担によることを周知すること。

審議の結果、会議室の利用に当たっては、特に無料で利用できる「認定団体」は、その承認にあたって以下の判断基準に基づいて行うものとし、

① 認定団体とすべき利用団体の構成員は、「全員」が市川市公立学校の現職または退職の県費負担教職員であること。

② 認定団体登録申請書及び団体構成員名簿等を、特別な理由がなく規定の期限までに提出しない団体は、認定団体として承認しないこと。

③ 認定団体を申請する利用団体の中に、市川市公立学校に勤務する現職の県費負担教職員または退職の県費負担教職員以外の者が含まれている場合、

ア. 市川市の教育または地域の振興を図る活動に寄与する活動目的及び活動内容を実施する団体であること。

イ. 団体の運営上、必要最低限の人数(3名まで)であること。ただし、団体の活動の目的や内容から、一般市民の参加によって市川市の教育または地域の発展に寄与するものであると認められる場合はその限りではないこと。

市川教育会館の未永い維持・運営のために不可欠な事項ですので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(5) 報告事項

平成30年度教育文化事業の実施状況について

⇒ 食育教室の参加者は教育会館近隣の学校にご協力をいただきました。また、他の教室は「市川よみうり・地域新聞」等で応募を募り、盛会の内に開催されました。

☆これまでの主な経緯(平成30年度:12月以降)★

H30.12.1 親子バルーンアート教室開催(33名参加)

H31.1.21 防災訓練 消防設備点検

H31.2.1 教育実践記録論文表彰式で受賞者に副賞の贈呈(入賞17名)

H31.2.2 チャリティー新春落語開催(106名参加)

H31.2.4 第4回定例理事会開催

H31.2.18 第2回定例評議員会開催

H31.3.7 市川教育会館だより発行

総額60,250円
をユニセフに寄付しました。